

2021年新年を迎えた。しかし、今年はいつもと勝手が違う。去年から世間を騒がせているコロナウィルスのせいである。年末年始も買い物には出なかつた。今年も福袋もあまり目にしていない。「せめて年始には初詣と考えていたが、巣ごもりを決め、1年に1回しか繁盛しない近くの神社にも行かなかつた。その神社が繁盛していたのかどうかを見ることもない。

会社での年始の挨拶もweb配信となり、今まで各事業所を回っていたが、それもなくなつた。

それ以外にも、業界団体や商工会議所等の賀詞交歓会も一切実施されなかつた。という異例づくめの正月であつた。ふと考えてみると「これは本当に異例な

2021年 年始にあたって



のかと自問自答している。確かに大晦日、正月、初詣、挨拶まわり、賀詞交歓会の流れは、日本独特の慣習だ。これをやらないと新年になつた気がしないのも事実である。

しかし、世界に目を向けてみると、アメリカ、ヨーロッパ等の欧米では、年末年始のカウントダウンはあるものの、2日から普段の仕事となるところも多い。ヨーロッパのプロサッカーリーグは正月休みもなく、1月2日から試合をやっている。もちろん一部の欧米

の人たちの中には、年末年始をクリスマス休暇として長期に休む人もいる。しかし、決して初詣、お参り等で、神社やお寺に人が集まつたり、繁華街に人が集結して新年会等をやつたりしていない。中国でもそうだ。そもそも中国も旧正月が正式な正月なので、元旦以外は普段どおりの仕事をしている。これを考えると、日本だけが世界と違って特別なのかと思う。その行事がなくなつたからといって、それを異例だと言っているのもおかしい話なのかもしれない。

最近のスポーツウォッチは、優れたものである。スマホと連動していて、GPSから歩く距離を設定すると自宅からのウォーキングコースを作ってくれる。それに従って毎日歩いている。優れたもののスポーツウォッチは、歩いた距離はもちろんのこと、平均スピード、1キロごとのラップタイム等いろいろなデータを情報として提供してくれる。これを見ると「今日は、昨日よりいい数字をだそう」などとモチベーションも湧いてくる。今年こそ、年頭に決めた目標を三日坊主にしないよう頑張れるのではないかと期待している。

結果的に今年の年末年始は、外で食事をするこも少なく、酒を飲む量も例年と比較して少ない。体調も良さそうだ。比較的時間ができたので、去年から体調管